

おも うめ たて しよ ぶん じょう 東京都の主なごみの埋立処分場

東京都内にはいくつかの埋立処分場があります。ほとんどの埋立処分場はごみを出す地域の中にありますが、二ツ塚廃棄物広域処分場だけは、日の出町の皆さんの協力により、ごみを出す地域の外にあります。



東京23区の家から出るごみのうち、「燃やすごみ」は清掃工場で燃やして灰にして、「燃やさないごみ」は細かく砕いて（燃やしたり細かく砕くことを「中間処理」といいます。）、中央防波堤外側埋立処分場・新海面処分場で埋め立てています。（灰のうち一部は、埋め立てないでセメントの原料や徐冷スラグなど（1ページ※4参照）にしています。）中央防波堤外側埋立処分場・新海面処分場は、東京都環境局で管理しています。

東京都の多摩地域のうち八王子市など25市1町の家から出るごみのうち「燃やさないごみ」は、中間処理した後、東京たま広域資源循環組合で管理している日の出町の「二ツ塚廃棄物広域処分場」で埋め立てています。「燃やすごみ」を燃やしたあとの灰は、全てエコセメントの原料にしているため、埋め立てていません。

多摩地域のあきる野市などの1市2町1村の家から出るごみは、中間処理した後、西秋川衛生組合が管理しているあきる野市の「第2御前石最終処分場」で埋め立てています。（灰のうち一部は、埋め立てないでスラグにしています。）

また、東京都には大島など330もの島（外周0.1km以上）が含まれていますが、島の家から出るごみは中間処理した後、東京都島しょ町村一部事務組合で管理している「大島一般廃棄物管理型最終処分場」などで埋め立てています。



どの埋立処分場も長く使うためには、ごみを少しでも減らすことが大切なんだよ。

うめ たて しよ ぶん じょう ごみの埋立処分場

—東京23区から出るごみの埋立て—

こんにちは！
ぼくがみんなを案内するよ。



東京都

東京23区の家から出るごみは、最終的には中央防波堤外側埋立処分場・新海面処分場で埋め立てられています。

東京港には新たに埋立処分場をつくる場所はありません。新海面処分場が東京23区のごみの最後の埋立処分場になります。ごみをもっと減らして埋立処分場にできるだけ長くごみを埋め立てられるようにすることが大切です。



しげん ごみと資源の流れ

※おおよその流れです。



可燃ごみ
(燃やすごみ)



不燃ごみ
(燃やさないごみ)



粗大ごみ
(30cm以上の大きなごみ)
※かさなど例外あり



資源
(新聞・雑誌・びん・かん・
ペットボトル・プラスチックなど)

ごみを燃やすことで発生した熱をエネルギーとして利用



ここが、東京23区のごみを東京港に埋め立てる最後の場所だよ。ここにできるだけ長くごみを埋め立てられるように、ごみを燃やして灰にしたり、細かく砕いてから埋め立てているよ。



清掃工場 (※1)

燃やすごみは、清掃工場では燃やして灰にし、大きさを 1/20 にします。

不燃ごみ処理センター (※2)

燃やさないごみは、細かく砕きます。ごみにまざっている鉄などは、資源として回収します。

粗大ごみ破碎処理施設 (※3)

大きなごみは細かく砕きます。ごみにまざっている鉄は、資源として回収します。

灰

セメント工場

資源化施設

セメント

徐冷スラグなど(※4)



細かく砕いた燃やさないごみ

細かく砕いた粗大ごみのうち燃やさないごみ

鉄・アルミニウム



鉄

再生品

洋服

トイレットペーパー

アルミ缶

ビン

紙類

- ※1 写真は新江東清掃工場です。東京23区内に清掃工場は22施設あります。(写真提供：東京二十三区清掃一部事務組合)
- ※2 写真は中防不燃ごみ処理センターです。東京23区内に不燃ごみ処理センターは2カ所あります。
- ※3 東京23区内に粗大ごみ破碎処理施設は1カ所だけです。
- ※4 徐冷スラグなどは、燃やすごみを清掃工場では燃やしてできた灰をさらに1200度以上で加熱した後、ゆっくり冷やしてできる人工の石のことです。道路のアスファルト舗装の材料などに利用できます。

うめ た ごみの埋立て



ごみを工夫して埋め立てているよ。

① 受付ゲートで埋め立てるごみの重さを量る。



② 決められた場所にごみを下ろす。



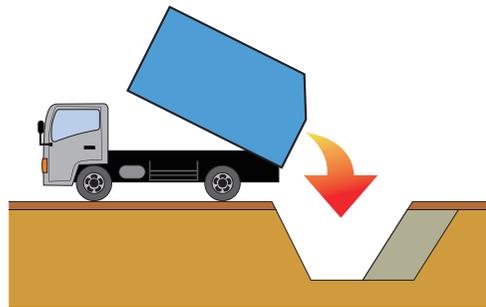
③ ごみを下ろした場所に土をかぶせる。



額縁方式

清掃工場で燃やした灰は、飛散を防止するため、土で盛り上げた土手をつくってできた穴に落とし込みます。

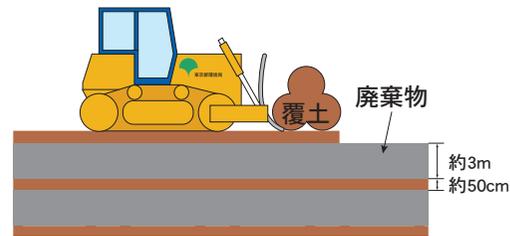
灰が一定の厚さになったら、土をかぶせます。



サンドイッチ工法

燃やさないごみは、3mほど積み、その上に50cmの厚さの土をかぶせます。

これらを繰り返して埋め立てていきます。



なぜサンドイッチ工法でごみを埋め立てるの？

サンドイッチ工法でごみを埋め立てることにより次の4つのよいことがあります。

- ① ごみが風で散らばるのを防ぐ。
- ② ごみの臭いを止める。
- ③ 害虫の発生を防ぐ。
- ④ 火災の発生を防ぐ。

環境に気を配りながら埋立てを行っています。



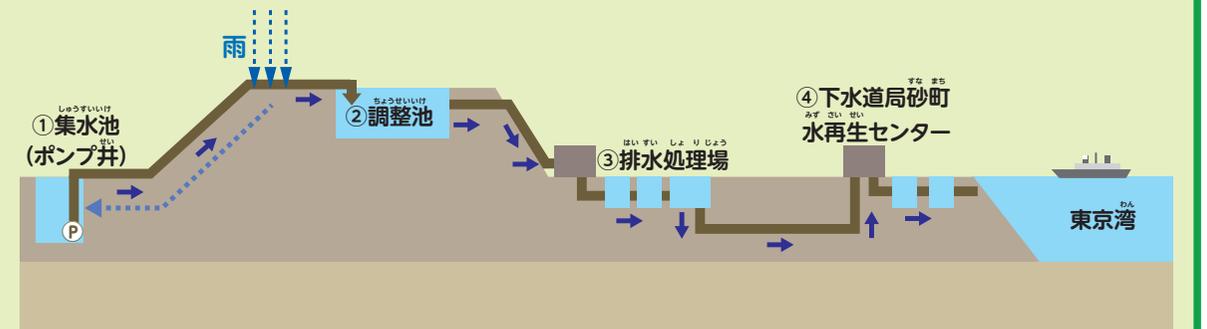
しんしゅつすい 浸出水をきれいにするしくみ



よごれた雨水をきれいにしているよ。

埋立処分場に降った雨は埋め立てられたごみにしみこみ、とても汚れるため、そのまま海に流すことができません。この汚れた雨水を「浸出水」といいます。

「浸出水」が海に流れ出ないように埋立処分場の周りには、頑丈な囲いがあります。そのまま「浸出水」が囲いの中にため続けると、囲いから「浸出水」があふれて海を汚してしまいます。そのため、「浸出水」をきれいにしてから下水道に流しています。これは、埋立処分場の重要な仕事の1つです。



① 埋立処分場内に10数か所ある集水池に浸出水が流れこみます。



雨水が汚れてこげ茶色の浸出水になっているよ。

集水池の雨水(浸出水)は、雨水がしみこむ場所に埋め立てられているごみの種類によって、汚れ具合や色が違うよ。

② 汚れ具合が様々な集水池の浸出水を大きな調整池に集めて、汚れ具合を同じぐらいにします。



「浸出水」を15万³ (小学校プールの約400杯) もためておけるよ。

③ 中央防波堤内側埋立地にある排水処理場で浸出水をきれいにして下水道に流します。



浸出水を薬品や目に見えないぐらい小さい生き物(微生物)の力を利用して、きれいにしているよ。

④ きれいになった浸出水を下水道局砂町水再生センター(東京都江東区)でさらにきれいにし、東京湾に流します。



3Rでゴミを減らそう!!!



1人ひとりが3つのRを行うことで、ゴミが減り埋立処分場にもっと長くゴミを埋め立てられるようになります。その上、地球の限りある資源を大切に使うことができます。

1 Reduce リデュース ~ゴミになるものを減らそう~



ごはんは残さず
食べよう。



買い物はマイバッグを
持って行き、レジ袋は
断ろう。



外出先には、水とう
などマイボトルを
持って行こう。



ものを最後まで
大切に使おう。

2 Reuse リユース ~使えるものはくり返し使おう~



つめかえの商品
を使おう。



いらなくなったものは、
必要な人にゆずろう。



修理して使えるものは、
なおして使おう。



使い終わったものを
別なものに利用しよう。

3 Recycle リサイクル ~もう一度資源として利用しよう~



資源になるもの
は、きちんと分けて資源
として出そう。



これからは
ごっちゃん
古紙
100%
古紙
100%
古紙
100%

資源として出され
たものを利用して
つくられた商品
(再生品) を買っ
て使おう。

3Rの中で一番大事なRは何か?

ゴミにしていたものを資源として利用(リサイクル)し、別な製品をつくるためには、新たにたくさんの資源やエネルギーが必要になります。地球の限りある資源を大切に使うためには、ゴミそのものを減らす「Reduce ゴミを減らす」が3つのRの中で一番大切です。
「ものを大切にし、ゴミを減らすこと」から始めましょう!



みんなで
もっとゴミを
減らそう!!

ゴミの埋立量



ゴミの埋立量は
だいたい減ってきて
いるよ。

ゴミは埋め立てる前に燃やしたり細かく砕いたりする、びんやかんなどはゴミにしないで資源として再び利用する、資源化されなかったプラスチックゴミは「燃やすゴミ」として清掃工場で燃やすなどして、埋め立てるゴミの量が減ってきています。
しかし、現在、埋め立てが行われている新海面処分場が東京23区のごみの最後の埋立処分場になります。埋立処分場がなくなると、町などにごみがあふれてしまいます。できるだけ長く埋立処分場にごみを埋め立てられるように、もっとゴミを減らす必要があります。



エネルギーの利用



つくった電気は
埋立処分場で使っ
ているよ。

中央防波堤内側埋立地・外側埋立処分場では、メタンガスや太陽光エネルギーを利用して発電を行っています。

ガス有効利用施設



昔、埋め立てた生ゴミなどが、腐って発生するメタンガスを燃やして発電機を回し、電気をつくります。

太陽光発電設備



太陽電池(黒いパネル)が太陽の光を電気に変えます。

